

生活機能支援手すり **バディー VII**
(離床支援)

取扱説明書



目次

○注意事項	・ ・ ・ ・ ・	P1
○各部名称および梱包内容	・ ・ ・ ・ ・	P2
○組み立て方法	・ ・ ・ ・ ・	P3
○設置方法	・ ・ ・ ・ ・	P4
○高さ調整方法およびフィッティング	・ ・ ・ ・ ・	P5
○お手入れ方法	・ ・ ・ ・ ・	P5
○点検項目	・ ・ ・ ・ ・	P6
○このようなときには	・ ・ ・ ・ ・	P6
○保証書、仕様	・ ・ ・ ・ ・	P7

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後もいつでも見られる場所に大切に保管してください。
ご本人の健康状態や体調が変化した場合には医師や看護師などの専門員に相談し、適切な処置を受けてください。

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご本人や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
取扱説明書に表示されている記号および言葉は、表示内容を無視した誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分で表しています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性がある場合。

⚠ 注意：障害を負う可能性または物的損害を発生させる可能性がある場合。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より快適にご使用いただくためのアドバイスが書かれていることを意味します。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分して表しています。

⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」の意味です。

Ⓢ この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の意味です。



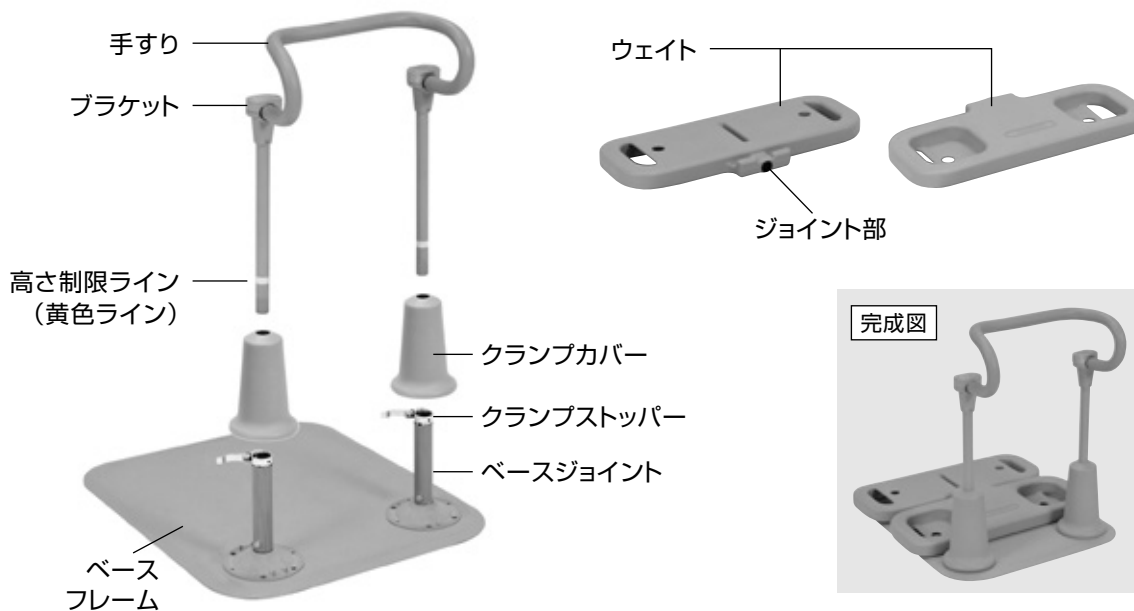
- **手すりに座ったり、ぶら下がったり、踏み台にしないでください。**
手すりに座ったり、ぶら下がったり、踏み台にすると本体が外れたり、破損して転倒やケガをする恐れがあります。
- **手すりのすき間に頭や首が入らないように十分注意してください。**
- **手すりとベッド側面との真に、ポジションチェッカーを使用してすき間を確保してください。**
(P4設置方法参照)
- **手すりを横から引っ張ったり、体をぶついたりしないでください。**
手すりを横から引っ張ったり、体をぶついたりすると本体が傾いたり、破損し、本体が倒れて転倒やケガをする恐れがあります。
- **屋外や風呂場など風雨にさらされたり水気のある場所では使用しないでください。**
パディーⅦは屋内専用です。屋外や風呂場などの水気の多い場所に設置すると水分などで床面が滑ったりし、不安定になり転倒やケガをする恐れがあります。
- **手すりはしっかり固定して使用してください。**
手すりを固定しているクランプストッパーの強度を確認し、簡単にずれたり、外れたりしない事を確認して使用してください。固定が不十分な場合、使用中に転倒やケガをする恐れがあります。
- **クランプカバーを必ず取り付けて使用してください。**
パディーⅦを使用するときはクランプカバーを必ず取り付けて使用してください。取り付けないで使用するとクランプストッパーなどに足などをぶつけてケガをする恐れがあります。
- **マットの上などには設置しないでください。**
マットの上などに設置すると使用中に本体が倒れたり、外れたりし、転倒やケガをする恐れがあります。
- **本製品は日本国内専用です。**
海外では使用できません。



- **パディーⅦ本体にぶつからないように注意してください。**
ご本人の身の回りのお世話をする時や本体使用中など、パディーⅦ本体にぶつからないように注意してください。強くぶつかると打撲の恐れがあります。
- **パディーⅦを移動したり運搬する場合は、落下などに十分ご注意ください。**
パディーⅦを移動したり運搬する場合は手すりを持って運搬をしないでください。ベースフレームから手すりが外れ、足元などに落下しケガをする恐れがあります。
- **ベースフレーム表面ですべらないように十分ご注意ください。**
濡れた手足や、靴下をはいたままで使用すると、ベースフレームですべる事がありますので、十分ご注意ください。
- **介護者などの付き添いが必要な方が使用する場合は十分ご注意ください。**
介護者などの付き添いが必要な方が使用する場合、必ず付き添いの方と一緒に使用してください。
- **ベースフレームと床面との段差でつまづかないように十分ご注意ください。**
ベースフレームと床面の間には段差があります。段差でつまづいて転倒などしないよう、十分ご注意ください。また、すり足などで歩行される方が使用する場合は、十分ご注意ください。
- **火気を近づけたり、ストーブやファンヒーターなどのそばで使用しないでください。**
火気やストーブ、ファンヒーターなどの熱により製品を損傷したり、火災の原因になる事があります。
- **お客様による分解・改造・修理はしないでください。**
変形・破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。
- **本来の目的以外に使用しないでください。**
本来の目的以外に使用すると、製品が外れたり思わぬケガをする恐れがあります。
- **有機溶剤やスプレータイプの殺虫剤などを直接噴射しないでください。**
清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。その後残った洗剤分を水に浸して、よく絞った布で拭き取ってください。最後に乾いた布で水滴・湿気をしっかり拭き取ってください。

各部名称および梱包内容

●各部の名称



●梱包内容


記載部品が全て揃っているか、また破損・変形などしていないか確認してください。
 万が一、部品の不足・破損があった場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。


手すり本体：1台
 (手すり、クランプカバー、ベースジョイント)
 ※出荷時には、組み立てられた状態になっています。


固定ネジ：8ヶ


ウェイト：2台
 ※別梱包で出荷します。



ナット：8ヶ


ワッシャー：16ヶ


ポジションチェッカー：2ヶ


ベースフレーム：1台



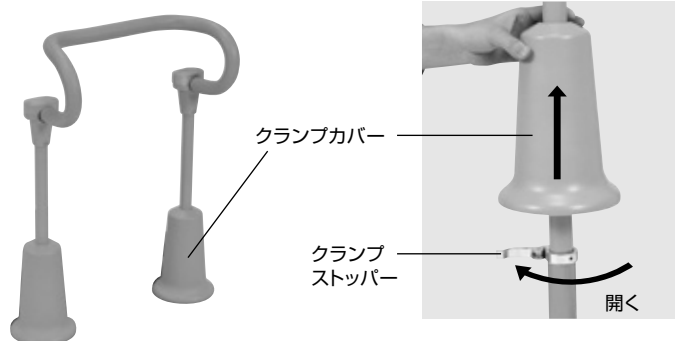
付属品



●取扱説明書：1部

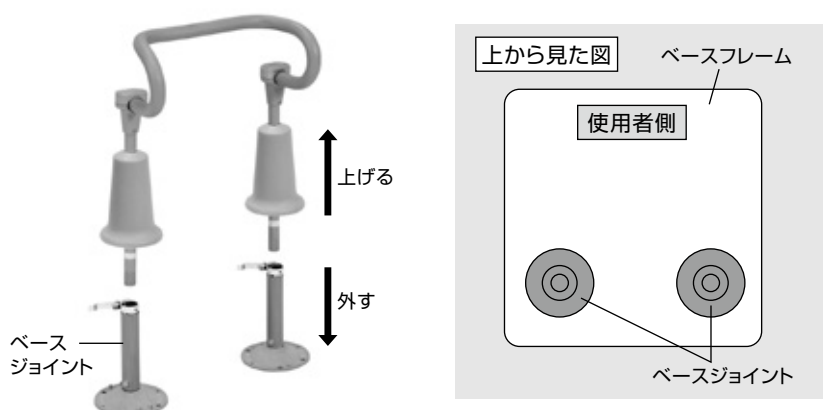
●バディーⅦの組み立て方法

- ① クランプカバーを上げて、クランプ
ストッパーを開きます。



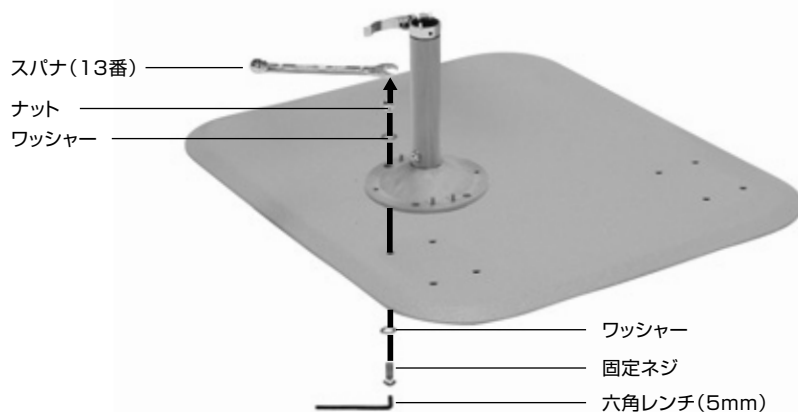
- ② 手すりとベースジョイントを
外します。

- ③ 手すりをベースフレームの端に
取り付けます。



- ④ ナット・ワッシャー・固定ネジを下図の順番通りにしめ付け、ベースフレームにベースジョイントを取り付けます。

※スパナ(13番)と六角レンチ(5mm)が必要です。
工具は付属していません。

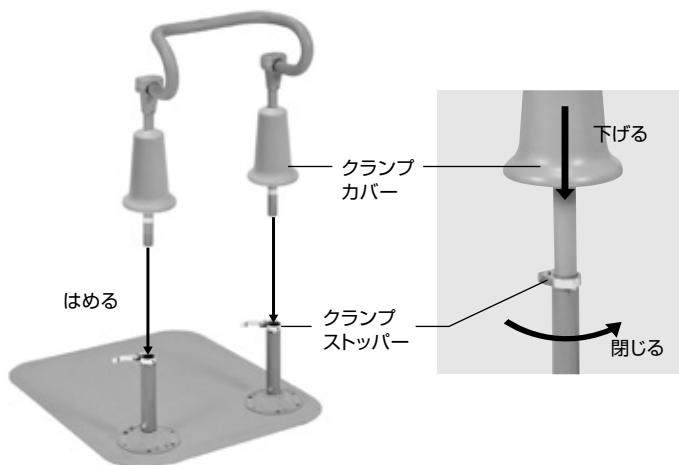


- ベースジョイント取り付け後、固定ネジ(8ヶ所)を必ずしめてください。
ゆるんだまま使用すると、使用中に手すりが外れ転倒し、ケガをする恐れがあります。
- 固定ネジを逆向き(ナットがベースフレーム裏面)に取り付けしないでください。床面を傷付ける恐れがあります。

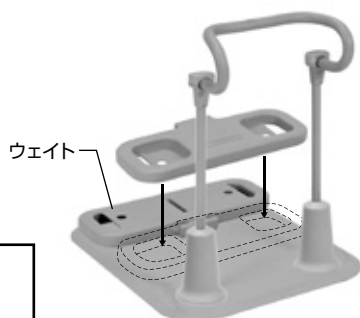
組み立て方法

⑤手すりをベースジョイントに取り付けます。

⑥クランプストッパーを閉め、クランプカバーをさげます。



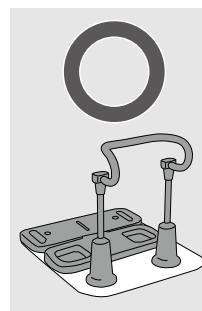
⑦手すりを設置していない側のベースフレームの上に、連結させた2台のウェイトを置きます。



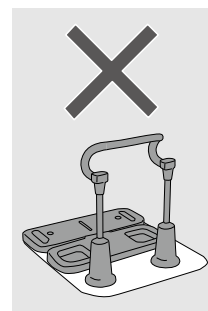
警告

●ウェイトを必ず使用してください。

《設置例》



《不適切な設置例》



正しい手すりの向きで使用してください。

設置方法

●バディーⅣの設置方法

手すりをベースフレームの端に取り付け、下図のように設置します。

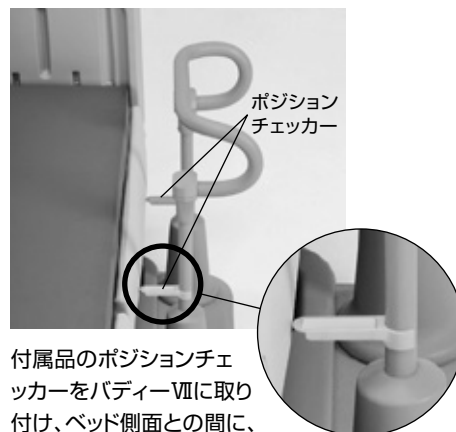
《設置例》



電動式介護ベッドで、ベッドの背上げ機能を使わずに離床する場合。
※ウェイトを必ず使用してください。



一般ベッド(家具調・パイプベッドなど)の場合。
※ウェイトを必ず使用してください。



付属品のポジションチェッカーをバディーⅦに取り付け、ベッド側面との間に、ポジションチェッカーの長さのすき間ができるように設置してください。

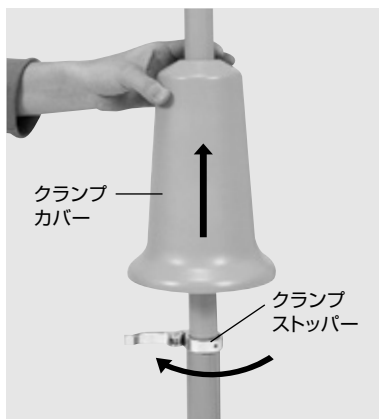


警告

- 段差や傾斜のある床には設置しないでください。
- 手すりとベッド側面との間に、必ずすき間を確保して使用してください。
- ベースフレームを完全に固定して使用しないでください。

高さ調整方法およびフィッティング

●高さ調整方法



①クランプカバーを上げてクランプストッパーを開きます。



②手すりの高さを調整します。



③クランプストッパーをしめて、クランプカバーを下げます。



警告

- 高さ調整後、クランプストッパーは必ずロックしてください。
ゆるんだまま使用すると、つかまった時に転倒・転落し、ケガをする恐れがあります。
- クランプカバーを必ず被せて使用してください。
- 高さ調整後、必ず各パーツに力をかけて、ぐらつきがないことを確認してください。
- 高さ調整ライン(黄色ライン)が見えていないことを必ず確認してください。

●フィッティング方法

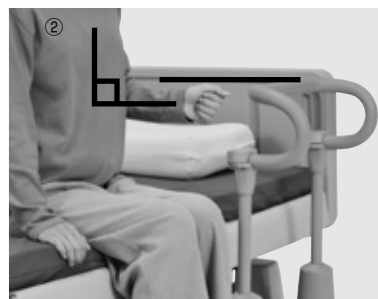
①設置位置

仰向けに寝た時の肩と手すりのブラケットの中心を合わせて設置すると最適な位置になります。



②手すり高さ

腕を90°に曲げて、こぶしと手すりの上面が水平になる高さにします。



お手入れ方法

●ベースフレーム、手すり

清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。

その後残った洗剤分を水に浸して、よく絞った布で拭き取ってください。最後に乾いた布で水滴・湿気をしっかり拭き取ってください。

※有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)やスプレータイプの殺虫剤、強塩酸洗浄剤などを使用しないでください。



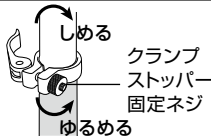
点検項目

●バディーⅦ組み立て後の確認事項

組み立てが完了しましたら、下記の点検項目を確認してください。
またこの点検項目は日常の点検にもお使いください。

点検項目		確認	
1	ベースジョイントとベースフレームの連結 ・ベースジョイントはベースフレームにしっかり固定していますか？ ・固定ネジは順番通りに取り付けられていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P3参照
2	ベースジョイントと手すりの連結 ・高さ調整後、クランプストッパーをロックしていますか？ ・手すりに体重をかけて下にさがりませんか？ ・高さ制限ライン(黄色ライン)は見えていませんか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P4参照
3	バディーⅦのガタつき確認 ・バディーⅦにガタつきはありませんか？ ・平らな場所に設置していますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P1、P4参照
4	クランプカバーの取り付け確認 ・クランプストッパー部分にクランプカバーを取り付け、クランプストッパーに被せていますか？(2ヶ所)	YES <input type="checkbox"/>	NO P3、P4参照
5	手すりとベッド側面とのすき間確認 ・手すりとベッド側面との間に、ポジションチェッカーの長さのすき間ができていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P4参照
6	手すりの向きの確認 ・手すりは正しい向きで取り付けられていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P4参照

このようなときには

症状	確認	処置
バディーⅦがグラグラして不安定	クランプストッパーをロックしていますか？	クランプストッパーをロックしてください。(P4参照)
	ベースジョイント固定ネジがゆるんでいませんか？	ベースジョイント固定ネジを増し締めしてください。(P3参照)
	高さ制限ライン(黄色ライン)は見えていませんか？	高さ制限ライン(黄色ライン)が見えないように手すりを下げてください。(P4、P5参照)
	ウェイトがベースフレームから外れていませんか？	ベースフレームの上にウェイトを置いてください。(P4参照)
手すりに体重をかけると下にさがる	クランプストッパー固定ネジがゆるんでいませんか？	クランプストッパー固定ネジをしめてください。(P5参照) 
高さ調整ができない	クランプストッパーロックを解除していますか？	クランプストッパーロックを解除し高さ調整をしてください。(P5参照)

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の症状の場合はお求めの販売店または
(株)モルテン 健康用品事業部までご相談ください。

【お客様窓口】株式会社 モルテン 健康用品事業本部
TEL(082)842-9975

仕様

バディーⅦ (離床支援)

品番 MNTJ

- バディーⅦ本体サイズ：全長70×全幅60×高さ65～72cm(無段階調整可能)
手すりサイズ：長さ40×高さ18cm、直径3.5cm
- ウェイトサイズ：長さ65×幅27×厚さ5cm
- 重量：29.2kg(本体15.2kg、ウェイト7kg×2台)
- 素材：ベースフレーム=スチール、パイプ部=スチール+木目調樹脂、
手すり部=(主材)スチールパイプ+樹脂、(表面)軟質樹脂

■1年保証

開発・製造元



※健康用品事業本部にて
取得しています。

株式会社 **モルテン**

健康用品事業本部

www.molten.co.jp/health

東京 札幌 仙台 名古屋 大阪 広島 福岡

製品他、各種お問い合わせは

〒739-1794 広島市安佐北区口田南2-18-12

TEL.082-842-9975

FAX ☎0120-769-123

E-mail:health@molten.co.jp